



令和6年12月2日
目黒区立駒場保育園 園長

朝「ハア～」と吐く息が白くなり、街の木々や風景もすっかり冬支度に入りました。陽だまりの暖かさが心地よく感じられる季節ですね。園庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿に、見ている私たちも元気パワーのおすそわけをたくさんもらっています。先日、0歳の子どもたちが玄関で自分の靴をかごから出し、玄関にちょこんと座って靴を履かせてもらっていました。「お靴履こうね。ここ（マジックテープ）びりびりしてね」という保育士の言葉かけに、指先に力を込めています。靴によっては、なかなかテープを剥がすことが難しいのですが保育士はじっと見守っていました。力を入れた指先を使って何度も試みると、やっとテープを剥がすことができ、保育士に「できたね」と声をかけられ、嬉しそうな笑顔を見せていました。少しずつ自分でできることが増えてきた姿を見ていると、私も嬉しくなり、心がほっこり温かくなります。「見守る」姿勢にはエネルギーと根気と覚悟が必要です。手伝えることは簡単ですが、子ども自身の成長や生きる力を損ねてしまうこともあり、子どもと保育士との間に繊細で微妙な距離感を保つことが最も大切です。

あとひと月で今年も終わります。今年も園運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。年の瀬が近づくにつれ、忙しさも増してきます。忙しくなると見えるものが少なくなります。“忙しい”という字は“心が亡ぶ”と書きます。心に余裕がないと、どうしても「早く、早くして」「～しなさい」「なんで…」という指示、命令、否定的な言葉かけになりがちですが、人に何かを伝えたり教えるときの言葉の選び方で、相手の理解は全く違ってきます。大きくひとつ深呼吸をして心を落ち着かせ、まずは自分自身と、そして子どもや家族、周囲の人と向き合いたいですね。私たちも、子どもたちからもらう元気パワーで毎日を楽しく過ごせるよう、体調に気をつけ、心にもゆとりをもって過ごし、子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合っていきたいと思います。

今月の予定

- 大きくなったね会
3、4、5歳クラス
- 5歳クラス懇談会
- 身体計測・避難訓練
- 0歳児検診
- 29日～1月3日まで
保育園はお休みに なります

★冬至のお話★

今年の冬至は 12月21日（土）です。
一年で一番昼が短く、夜が長い日が冬至です。
冬至の日にかぼちゃを食べたり、柚子湯に入ったりすると、風邪をひきにくくなると言われています。
寒くなるこれからの時季、体を温めて風邪に負けない強い体に変身しましょう！

保育園のレシピ紹介 南瓜のいとこ煮

材料 (4人分です)	A	南瓜 1/4 (皮と種を取ります)	B	小豆 20g
		だし汁 80~100g		砂糖 大さじ1
		醤油 小さじ1~1/2		醤油 小さじ1~1/2

- ① Aの南瓜、だし汁、醤油を合わせて柔らかくなるまで煮る。
- ② Bの小豆は水で戻し、ひたひたの水で煮る。(2~3度茹でこぼすと綺麗に仕上がります)
- ③ 柔らかくなったら小豆にBの調味料を加えてコトコト煮る。
- ④ AとBを合わせて出来上がり！

<今月は大きくなったね会のみどころを紹介します >

さくら組 「てぶくろ」

絵本を読むと「てぶくろ、はいりたいなー」と、子どもたちから声があがりました。ベンチで囲いを作り、てぶくろの部屋を作ると劇ごっこが始まりました。自分たちでやりたい役になって「だれがすnderの」「いれて」「どうぞ」と、セリフのやりとりを楽しんで遊んできました。お面を作ると、役になりきり自分たちなりに動作をつけて動いています。足りない役があると、はじめは「先生がやって」と、言っていたのですが、役を変わってくれる子も出てきました。劇が始まる前に、散歩で拾ってきたどんぐりを使って作った自作のマラカスを振りながら『ゆき』を歌います。

お父さんやお母さんを目の前にするとドキドキしてしまうかもしれませんが、初めての『大きくなったね会』をとても楽しみにしている子どもたちです。



すみれ組 「かえるの のどじまん」

保育士が『かえるの のどじまん』のペープサートを披露すると、個性豊かなキャラクターを笑いながら見ていた子どもたちです。そして「可愛いから“ふりかえる”がいい」「“そっくりかえる”みたいにそっくり返れるよ」とそれぞれお気に入りのキャラクターを見つけ、なりきって遊び始めました。かえるたちが言い合いをする場面では「自分たちが怒った時にどうしていたかな」と考え「こんな顔した!」「ぷんって言った」と表情や振る舞いを思い浮かべ、友達とお互いの顔を見せ合って楽しんでいました。劇の中でも、怒ったり喜んだり感情豊かに表現して楽しんでいます。また、劇中で歌や合奏を披露します。夢や希望が溢れた『あおいそらにえをかこう』という歌を元気に歌い、3種類の楽器を使って合奏を行います。リズムに合わせて楽しみながらそれぞれの楽器を演奏しています。



ひまわり組 「金のガチョウ」

紙芝居を読むと、普段は真剣な表情で聞いている子どもたちですが、金のガチョウを読んだときは、ガチョウに色んな人がくっついていくところが面白いと大笑いして「大きくなったね会でやりたい」という声があがりました。早速、色々な役になって劇遊びを楽しんでいくと、町にはいろんな人がいるという話しになり「ラーメンを配達している人を見たよ」「楽器を持って歩いている人も見たことある」など様々なアイデアが出て、ひまわり組オリジナルの登場人物が増えていきました。また「お坊さんはお数珠を持っているよね」「帽子をかぶったアイス屋さんにしようかな」など小道具や衣装、動きを考えたりと、みんなで相談しながら劇を作り上げていきました。ナレーターも子どもたちが行い、子どもたちが主体となり物語をすすめる楽しさを感じています。劇の前には『シングルベル』の曲を歌って、合奏します。ピアノ、木琴、すず、トラアングル、大太鼓、シンバルと様々な楽器を使い、自分の楽器の音だけでなく友達の楽器の音も聞きながら気持ちを合わせて演奏することを楽しんでいます。

